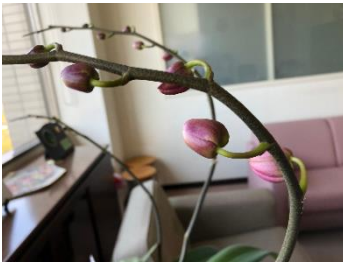


みなさまへ



教育長室の胡蝶蘭のつぼみが徐々にふくらんできました。

ひとつめが開花するころには、コロナ禍が収束し学校(園)を再開できるものと願っていましたが、もう少し時間が必要です。

さて、この間、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

全国一丸となって外出自粛等に取り組んでいるところですが、一時期ほどではないものの、全国的に感染者数が増え続けており、収束までにはまだ時間がかかるとおられます。

政府においては、緊急事態宣言を延長する方向で調整に入っていますが、決定までに数日要するようです。

そのような中、京都府や近隣府県ではすでに臨時休業延長が示されており、本市においても、昨日(4月30日)お知らせしましたとおり、5月7日の学校再開を断腸の思いで断念し、臨時休業を5月31日まで延長させていただきました。

まず、幼児、児童、生徒のみなさんへ

3月2日から続く休園、休校で、つらい毎日を過ごしていることと思います。

本来であれば、お家、幼稚園や学校で元気一杯、力一杯いろいろなことに取り組み、楽しんでいるところです。

今、世界中で新型コロナウイルスという未曾有の(過去に一度も起きなかった)脅威と戦っているところです。

この脅威に打ち勝つには、みなさんの外出自粛やいわゆる3つの密(密閉、密集、密接)を避ける行動が一番の戦力となります。

自分自身はもとより、家族、友人そして世界の人々を助けるために、ひとりひとりが主役となって頑張ってください。

次に、保護者のみなさまへ

現在、臨時休業に加え、留守家庭児童会等におきましても、できる限りご家庭で過ごしていただくようお願いしているところです。

私は、日頃から「学校(園)はご家庭以外では一番安心・安全な場である。」との信念のもと教育行政を進めています。

しかし、この度のコロナ禍におきましては、「学校(園)での通常の教育活動は感染のリスクをとる。」ということから、臨時休業を延長することとしました。

ご家庭には、多くのご負担をお掛けすることとなりますが、「子どもの命を守る。」ことを最優先に、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、市民のみなさまへ

私の62年間の人生で、このようなことは初めてで、大変戸惑い、また、子ども達のことを考えると辛く、そして悲しくなります。

市民のみなさまにおかれましては、緊急事態宣言下において、不自由な毎日でストレスや（やり場のない）怒りを感じておられることと存じます。

現在、学校（園）が臨時休業中であり、遊び盛りの子ども達は大人以上のストレスを抱え苦しんでいる状況です。

みなさまには、くれぐれも健康にご留意されるとともに、京田辺市の子ども達を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

この花は、昨年6月に五十数年来の親友から教育長就任のお祝いとしていただいた胡蝶蘭です。

前述の“つばみ”は、この花から新たに芽吹いたものです。

今とは少し違った風景の京田辺市（当時は田辺町）で、親友とともに、日が沈むまで野山を駆け回ったことが、懐かしい思い出です。

次代を担う京田辺の子ども達が、一日も早くいつもどおりの風景で、いつもどおりの生活（これが一番のしあわせです。）が送れることを願っています。



5月10日は「母の日」です。そして、

今日（5月1日）は母の89歳の誕生日です。

持病があるため、病院が併設する施設で預かっています。この施設も現在訪問することができません。

施設の方の付き添いで、散歩や買い物に出掛けるのが楽しみの母ですが、今は外出自粛で、それもできないそうです。

その代わりに、施設でマスクづくりや簡単な運動をして楽しんでいます。



学校が再開できたときには、大きなアレンジメントを抱えて母のもとに行きたいと思ひます、
「Happy Birthday!」を伝えるために。

令和2年（2020年）5月1日
京田辺市教育委員会
教育長 山岡 弘高